



## 輝ける場所で全力疾走

昨日、全国で一番暑かった香川県。その中で一番熱かった場所は、詫間中学校だったかもしれません。連休明けの早朝から、“輝ける場所”に向けてのラストスパートが見られました。久しぶりの長縄跳びだったためか、思うように跳べないクラスも見られましたが、それでもみんなでなんとかしようという気持ちが伝わってきました。失敗してもその人を責めるような雰囲気はなく、「あと1回、もう1回」という声が自然に湧き上がっていました。とても気持ちのいい光景でした。

そして、今日は早朝練習最終日。練習が始まった9月7日と同じように暑い朝でした。先生方も一緒になって、最後の追い込みで汗を流していましたが、暑さのせい、それともこれまでの疲れのせい、最後に最高記録が出たというクラスはあまり見受けられませんでした。

この競技、結局最後は、だれかが縄に引っかかって終わります。つまり、“失敗”で終わってしまいます。でも、クラス最高記録が出たとき、“失敗”は“成功”に変わります。たとえ、他のクラスよりも回数が少なかったとしても、価値（勝ち）があります。練習は裏切らないことを信じてがんばりましょう。

また、「オーシャンボーイ」「サマー☆ガール」「詫中ソーラン総舞黎」の演技も、予行からはるかに進化しています。「全員リレー」「ドラゴンリレー」「部活動行進」「学級対抗リレー」なども楽しみです。

下の新聞記事は、ある中学校の体育祭での出来事が話題になっています。はたしてみなさんは、この体育祭でどんな経験をする事ができるでしょうか。これまで、体育祭スローガンのように“輝ける場所へ全力疾走”してきたみなさんです。明日は“輝ける場所で全力疾走”できることを祈っています。

それは体育祭の目玉企画だった。各クラスの代表を送り込んだ「270人271脚」。世界記録に挑戦しようと生徒会が企画し、マスコミも集まった。ギネスブックの規定でチャンスは1回。生徒たちは見事、50mを完歩した・・・はずだった。

歓喜の輪が広がり、マスコミの取材も終わった後、1人の生徒が母親に伴われて本部席にやってきた。「(自分が脚を結んだ)ひもがほどけていた」。教員たちは顔が青ざめたに違いない。

学校によれば、隣り合っていた生徒も認めたが、映像では確認できず、黙っていたらとの意見も出た。参考記録としてギネスに申請する案もあった。しかし結局、学校は生徒の勇気を大切に、3日後に申請断念を決めた。滋賀県のある中学校での話だ。

正直に申告しなければ、この先ずっとごまかし続けなければならない。申告しても、間違いなく皆をがっかりさせる。この生徒は今も、言って良かったのかどうか悩んでいるという。

正直の上には何か付くのではと、批判する人もいるだろう。不正の内部告発をして、総スキャンを食う例は珍しくない。それが世の中の現実である。しかし日本人の正直さが、世界の信頼と経済成長をもたらしたのも事実ではなかったか。

学校には、この生徒への温かい声が続々と届いているそうだ。いっそ再チャレンジとはいかないものか。そして成功させ、正直さが良い結果をもたらす経験を、生徒たちができれば最高だ。正直者が報われる社会であってほしい。

※四国新聞「一日一言」(9月17日)から引用

### 明日天気になあれ

秋雨前線が南下し、今夜から明日にかけて雨の予報が出ています。雨が降らないことを祈りつつ最悪の場合にも備えておきましょう。

明日、体育祭を実施するか、延期するかについては、6時に判断し、広報無線で放送するとともに、マチcomiメールでお知らせします。



### 雨天順延の場合

- ・23日(木)は秋分の日で、休みです。
- ・24日(金)は5時間授業で、ノ一部活です。お弁当を持って登校してください。
- ・25日(土)に体育祭を実施します。
- ・27日(月)が振替休日になります。